

県民のヘルスリテラシー向上支援事業（県民対象）

事業名・連絡先（メールアドレス）	概要
在宅療養児と 家族の声を届ける講演会支援 tsutako.miyazaki@mcn.ac.jp（宮崎）	医療的ケアを必要とする子ども（以下、医療的ケア児）や家族の現状について、その実際を知る機会は、地域住民あるいは当事者、また、支援を行う多職種もそれぞれの立場での一側面に限られています。本事業は、医療的ケア児とその家族の思いや現状について、当事者自身の声を直接届ける講演会や医療的ケア児の家族の交流の機会を支援し、県内で広く地域・社会の役割を知ってもらう活動です。
おいさないさ、みかん大ミニ講座 makoto.tabata@mnc.ac.jp（田端）	県民の皆様の健康づくりのためにミニ講座を開催します。気軽にみかん大のミニ講座へおいさない（きてください）。このミニ講座では、おい（おい）ないならぬ、老いても健やかに暮らすために着目したい話題を取り上げます。予定している話題は「嚥下」です。
みかん大 ヘルシーウォーキング体験会 norikazu.oonishi@mcn.ac.jp（大西）	当事業では、ウォーキングやノルディック・ウォーキングを楽しみ、健康の維持増進に役立てられるよう、基本的な知識や方法・注意点などを解説するなど、情報提供や体験の機会を、地域の活動等と連携して企画します。
看護と情報リテラシー takako.ueda@mcn.ac.jp（上田）	情報リテラシーとは、さまざまな情報を上手に使いこなす能力のことです。本事業は、看護や医療に関する情報について、集める・調べる・検討する・判断するという活動を通して、情報リテラシーを高める実践講座です。スマホやパソコンを使って検索し、情報の真偽について検討することで、参加者の情報リテラシーを高めていくことを目指します。
「認知症の人にやさしく寄り添う」 ための相談・支援 ritsuko.shimizu@mcn.ac.jp（清水）	認知症を正しく理解すると、その行動の理由がわかり、どう対応したらいいか、につながります。認知症の人、一人一人に向き合い、寄り添うケアについて考えられるように認知症に関する講座や事例検討会を開催します。
みかん大 暮らしの保健室 yuichiro.hirao@mcn.ac.jp（平生）	みかん大 暮らしの保健室では、①健康チェック（貧血、握力、骨密度など）、②看護職による健康相談、③健康講話などを実施しています。また、希望者には、フットケアやアロマハンドマッサージも行っています。子育て中の方からご高齢の方まで、さまざまな方の参加をお待ちしています。
僕たち私たちでも出来る！ 夏の危険から身を守るための基礎講座 yuka.takuwa@mcn.ac.jp（多久和）	本事業は、楽しい夏休みを過ごせるよう、子どもたち自身が夏のあらゆる危険（熱中症・食中毒・水の事故など）から身を守り、危険を回避し、予防できる自助の精神を育てることを目標とした活動です。多くの子どもたちが集まる学童保育施設を訪問し、子どもたちと一緒に楽しく学びを深めていきます。
みかん大哲学カフェ akira.abe@mcn.ac.jp（安部）	現代では、私たちの生活環境は大きく変化し、それにともない医療や地域における共生の問題の答えをみつけるのは難しくなりつつあります。しかしこうした難問こそ、異なるバックグラウンドをもつ人々が互いにその異なりを尊重しあう多声的な対話をつうじて探求すべきです。そうすることで、答えには到らずとも、問題の構造や奥行きはより鮮明になるはずです。
がん患者を有する家族：就学生の集い - I can cope with family - akiko.okawa@mcn.ac.jp（大川）	がんに関係する家族は、その対処法が分からない場合が多く、辛い思いを抱え込むことが多いです。これらの就学生の支援をはじめとして幅広く悩みを持っている患者家族の支援には、一人で悩まず、みんなで開放的に経験や接し方などを話し合い、情報を共有することが必要です。このため就学生が患者や家族、病気との向き合い方を語り合い、考えていく集いを開催します。
Re-mamma ReCafé （リマンマ リカフェ） akiko.okawa@mcn.ac.jp（大川）	乳がんの治療後、お身体の調子はいかがですか？ ご自身の胸の大きさに合わせたご自分の乳房パットと一緒に作りませんか？体験者の坂田さんが多くの人に届けられたらという思いで乳房パットの作り方を伝えられております。ダブルガーゼの素材で、中身は樹脂ビーズを使用しています。肌ざわりや汗の吸い取りが良く、洗濯も可能ですすぐに乾きます。 乳房パッド作りを作る際、楽しくおしゃべりしながら、Re-mamma しましょう！
「英国アフタヌーン・ティー」 @みかん大 idumi.doraiden@mcn.ac.jp（ドライデン）	三重県にお住まいの方々の多文化交流のために、近代看護の母ナイチンゲールの出身地イギリスの文化や歴史の紹介とともに、お茶や音楽の効能も体験する英国アフタヌーン・ティーを開催します。五感を満たすアフタヌーン・ティーを楽しみ、心と身体をリフレッシュして、皆さまの健康維持とリラックス交流を支援します。
看護職を目指したい小・中学生支援 「スピーチ・コンテスト」@みかん大 idumi.doraiden@mcn.ac.jp（ドライデン）	三重県の小学生・中学生が「なりたい自分になる」支援を目的とします。将来の夢や就きたい職業、健康について自信を持って語ることのできる場として、子どもから大人まで参加できるイベント（スピーチ・コンテストを含む）やセミナーを企画・開催します。好きなことや主張したいことを自由に語れる場を設け提供することで、人前で話すことへの苦手意識もなくします。
こどもたちに 「自分のからだ」を伝える事業 shuhei.nishiyama@mcn.ac.jp（西山）	本事業は、地域の教育・福祉に関わる機関・団体と協力連携して、小学校入学前の好奇心の強い子どもたちを対象とし、「自分のからだ」について、紙芝居や教材を用いて伝える活動です。
災害に備えよう ritsuko.shimizu@mcn.ac.jp（清水）	南海トラフ地震発生の危機が刻々と迫る今、地域住民が危機感をもち防災・減災対策を行うことが求められています。本事業では、本学の看護教育・研究機関としての機能を活用して、地域住民の「自助」「互助」を高め、防災の日常化を目指します。
社会的養育が必要な子どもと その子どもを育てる家族の 交流および活動支援事業 tsutako.miyazaki@mcn.ac.jp（宮崎）	地域には、社会的養育のもとで暮らす子ども達が居り、その子ども達を様々な形態で育てている家族がいます。本事業は、国連子どもの権利条約が採択されて30年、三重県子ども条例が制定されて10年目を迎えたことをきっかけに立ち上げた、地域の関係団体と連携して社会的養育が必要な子どもを育てる親や家族の交流会支援を積み上げてきた支援事業です。

詳細は本学ホームページ（三重県立看護大学>地域貢献・国際交流>地域交流センター>教員提案事業）をご参照ください。

<お問合せ先> 三重県立看護大学 地域交流センター

TEL：059-233-5610（平日9時～17時）E-mail：rc@mcn.ac.jp